

KÄRCHER

取扱説明書

KM 100/100 R Bp



この度はケルヒャー商品をお買いあげいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

202211

◆もくじ

固定・ジャッキアップ	3
使用上のご注意	4～8
仕様	9
構造	10
各部名称	11～12
動力なしで移動	13
始業前点検	14
使用方法	15～18
使用しない場合	19
充電	20～23
メンテナンス	24～34
トラブル対応	35～36
保管方法	37
お問い合わせ先	38
ユーザー登録・保証	39
修理	40
補修部品	41

固定・ジャッキアップ



<固定場所>

輸送時は必ず動かないように固定してください。
ダストコンテナを空にしてください。
本機をベルト若しくはロープで固定してください。
固定場所にチエーンの絵がプリントされています。
タイヤに輪止めをかけてください。



<ジャッキアップ>

水平な場所へ移動してください。
エンジンを停止してください。
ダストコンテナを取外してください。
エンジンを停止してください。
車止めを行ってください。
充て木をしジャッキを掛けてください。
万一の事故防止の為、ウマを併用してください。

使用上のご注意

◎ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



注意

清掃は自己責任において行なうこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損などが生じた場合もしくは正しく操作をせずにケガ等を負った場合、当社では一切の責任を負いません。



ご使用時の警告



子供には触らせないこと

重大事故が生じる場合があります非常に危険です。

改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもとになることがあります。

修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと
個人の修理は事故のもとになるおそれがあります。

飲酒時には絶対に運転しないこと

危険物や火気のある場所で使用しないこと

火災の原因となります。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

本体、電源プラグに水をかけないこと

感電する場合があります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと

感電する場合があります。



バッテリーを短絡させないこと

短絡させた場合、爆発する危険性があります。

バッテリーに水をかけないこと

引火爆発の原因となります。

接続ケーブルは確実に取り付けること

ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。

操作パネルに水をかけないこと

スイッチが損傷する原因となります。



バッテリーに関する警告



充電中は火気厳禁！

充電中はバッテリーからガスが発生し、引火爆発を生じる恐れがあります。

バッテリーを短絡させないこと

短絡させた場合、爆発する危険性があります。

バッテリーに水をかけないこと

引火爆発の原因となります。

バッテリーに衝撃を与えないこと

内部充填液が衣服、皮膚、目に付着した場合、損傷、火傷、失明の原因になります。

危険物のある場所で充電しないこと

引火爆発する場合があります。

充電中は接続プラグを抜かないこと

バッテリーの寿命を縮める場合があります。

充電中に接続プラグを抜かないでください。



作業に関する注意



車両の周りの安全確認を行うこと

車両付近に他の人や、動物、障害物がないかを確認してください。

シートに重量物を置かないこと

誤動作を生じる場合があります。

急激なアクセル操作をしないこと

アクセルペダルはゆっくり踏み込んでください。

制動はブレーキを必ず使用すること

アクセルペダルを離しても停止しません。

車両を停止する場合はブレーキ操作を必ず行い停止してください。

急激なハンドル操作を行わないこと

転落の危険があります。

傾斜地は低速で移動すること

ブレーキの利きが低下する場合があります。

50 mm以上の段差を超えないこと

走行系統を損傷する場合があります。

ひも状のゴミは事前に取り除くこと

ブラシを損傷する場合があります。

停止したまま同じ場所を清掃しないこと

床面が損傷する場合があります。

高圧洗浄は行わないこと

稼働部が損傷する場合があります。

メンテナンスの際は防塵マスクを装着すること

ダストフィルターの交換・ブラシの交換の際は粉塵対策を行い作業を行ってください。

ダストフィルターは水洗い禁止

フィルターが壊れます。



雨天時は使用しないこと

電装系統に悪影響が生じます。

使用しない場合はシートで覆うこと

電装・エンジン・油圧系統に悪影響が生じます。



バッテリーに関する注意



充電は換気の良い場所でおこなうこと

屋内で充電する場合は換気設備の整った場所でおこなってください。
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

専用充電器を使用すること

専用充電器以外で充電した場合バッテリーの寿命を著しく低下させます。

軽作業時の充電はインジケータランプが黄色になってからおこなうこと

インジケータランプが黄色になる前に充電作業を実施した場合バッテリーが過充電となりバッテリーの寿命を著しく低下させます。

バッテリー液の補充を行うこと

バッテリー液が少ない状態で使用した場合バッテリーが爆発する場合があります。作業前に必ずバッテリー液の確認を行なってください。

バッテリーの形状に注意すること

バッテリーの寿命が近づいてくるとバッテリーの側面が膨らみます。
バッテリーが丸く膨らんだ場合交換してください。

長期保管時は充電すること

1ヶ月以上使用しない場合は毎月1度必ず充電してください。
バッテリーは使用しない状態で保管した場合、約3ヶ月で完全放電します。完全放電した場合バッテリーの寿命が低下します。

0～40度の場所で充電すること

充電場所は涼しい場所でおこなってください。

接続ケーブルは確実に取り付けること

ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。

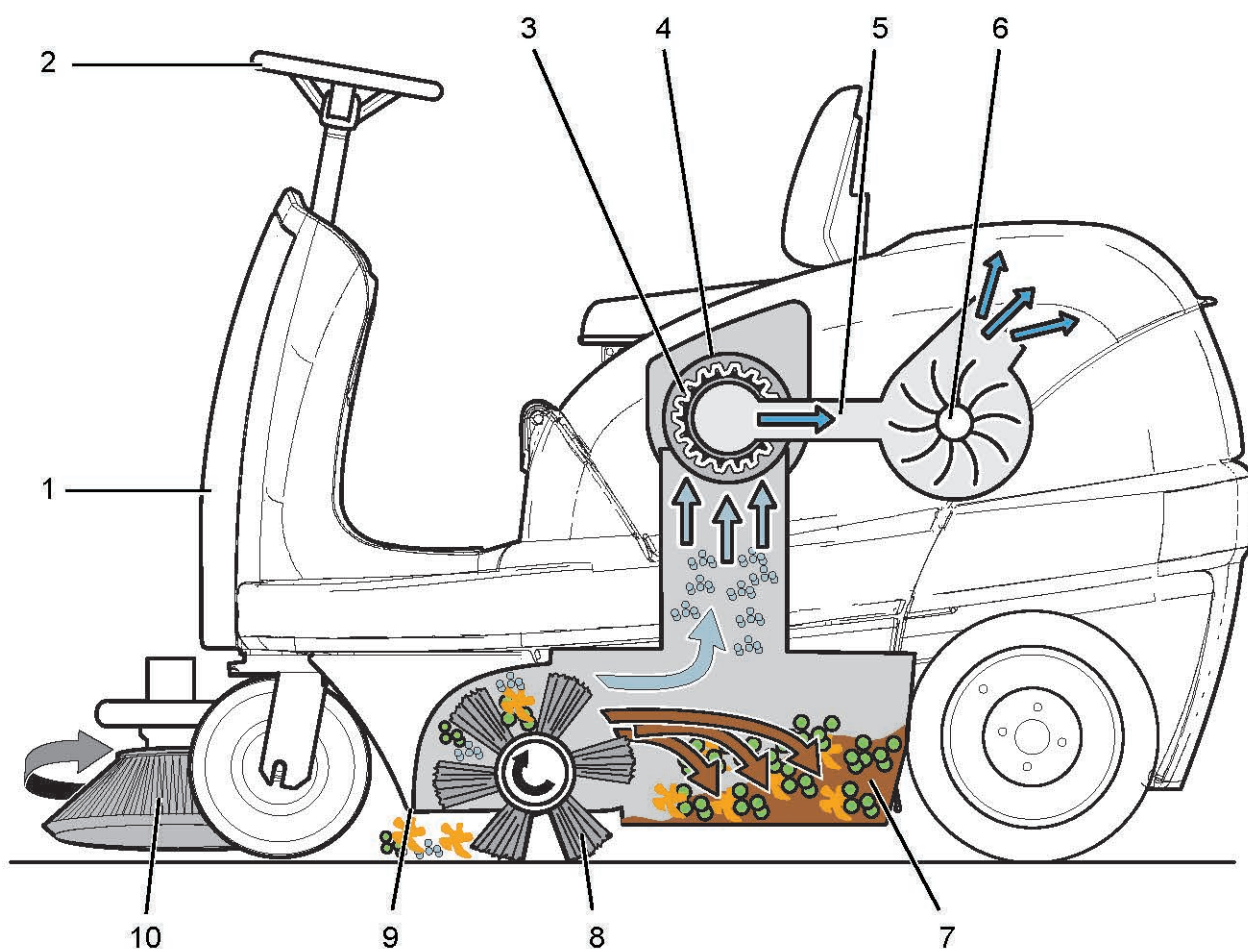
作業終了後は毎日充電すること

完全放電状態で充電をおこなうとバッテリーの負担が増加し充電回数が低下します。

75%放電時の充電時間は外気温度30℃の場合約12時間かかります。
充電は途中で止めないでください。

動力	DC 24 V 240 Ah / 5 h
充電時間	10 ~ 15 時間
作業時間	約 2 ~ 2.5 時間
走行モーター	24 V / 37 A / 750 W
メインブラシモーター	24 V / 35 A / 600 W
サイドブラシモーター	24 V / 10 A / 200 W
清掃能力	
サイドブラシ2使用	7150 m ² / h
清掃幅	
サイドブラシ未使用	710 mm
サイドブラシ2使用	1290 mm
回収タンク	100 L
長さ×幅×高さ	2006 × 1005 × 1343 mm
本体質量	660 Kg
作業可能温度	-5 ~ 40 °C
作業可能湿度	20 ~ 90 %
登坂能力	18 %
騒音値	75 dB (A)
前輪	ソリッド
後輪	4.00-8

構造



基本構造

サイドブラシで中央へ寄せられたゴミをメインブラシの回転によりコンテナに集めます。ゴミコンテナ容量の80～90%を使えば効果的な清掃がおこなえます。メインブラシにより巻き上げられた粉塵はタービンによりフィルターで集塵され作業環境悪化防止に役立ちます。

1. フロントカバー
2. ハンドル
3. フィルター
4. フィルターシェイカー
5. タービンダクトスリーブ
6. タービン
7. ダストコンテナ
8. メインブラシ
9. フラップ
10. サイドブラシ

*仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。

各部名称



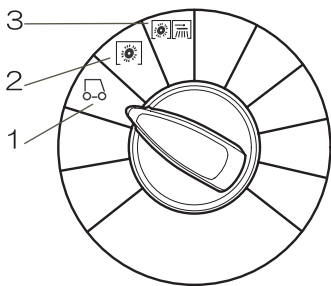
*カバーの色は グレーです。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. シート (シートスイッチ付き) | 7. ダストフラップ |
| 2. ボンベ固定具 | 8. 操舵輪 |
| 3. 駆動輪 | 9. サイドブラシ |
| 4. ダストコンテナ | 10. ガード |
| 5. フラップペダル | 11. フロントカバー |
| 6. ブラシ駆動部 カバー | 12. ハンドル |



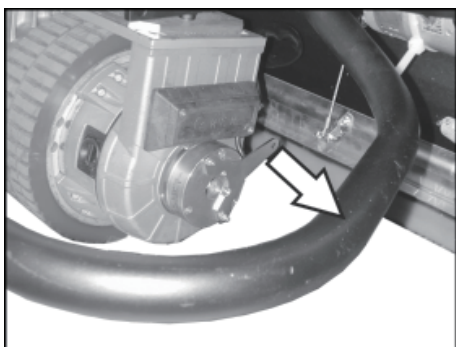
1. 清掃モード選択ノブ
2. 非常停止スイッチ
3. フィルター清掃スイッチ
4. ホーンスイッチ
5. 作動時間計
6. バッテリーインジケータ
7. 過負荷インジケータ
8. メインブラシインジケータ

*仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。



- 1 ドライブモード
機械を移動することができます。
- 2 メインブラシモード
メインブラシが下降し、回転します。
- 3 サイドブラシモード
サイドブラシ、メインブラシが下降し回転します。

動力なしで移動



走行モーター横のプレートを外側に引きます。
2名で作業を行ってください。
坂道での解除は絶対におやめください。
スペーサーを挿入しプレートを広げた状態で固定してください。
本体を押し移動する事が出来ます。

<注意>

緊急時以外操作しないでこと
ブレーキが利かないため事故を誘発します。
緊急時以外操作しないでこと
ブレーキが利かないため事故を誘発します。

始業前点検

一般的なご注意

本体は平らな平面に置いてください。
本機から離れる際には必ずエンジンを切り、キースイッチを取外してください。

始業前点検

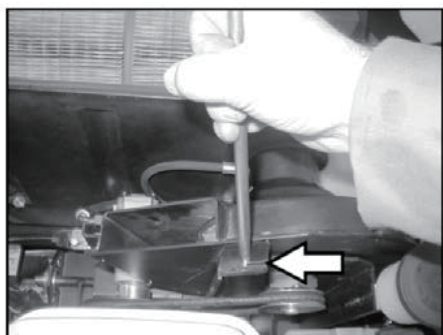
バッテリーの点検を行ってください。
シートの位置を合わせてください。
メインブラシを点検してください。
ゴミコンテナを空にしてください。
タイヤの空気圧を点検してください。
油圧オイルを点検してください。
サイドブラシを点検してください。



メンテナンス作業を参照すること
点検中に見つかった問題点は直ちに修復してください。



＜ボンネット＞
カバーを後方へ持ち上げてください。
ボンネットロッドを固定具から取外します。



ボンネットロッドをフロア部位にある固定場所に
差し込んでください。

使用方法

<注意>

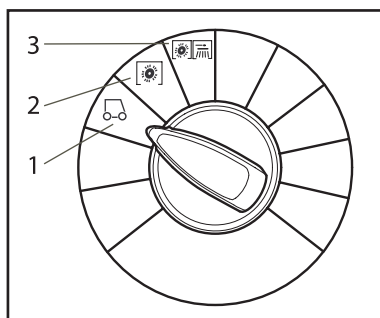
本体にはボンネットコンタクトスイッチが装置されてます。

カバーが開いている状態では始動しません。

本体にはシートコンタクトスイッチが装置されてます。

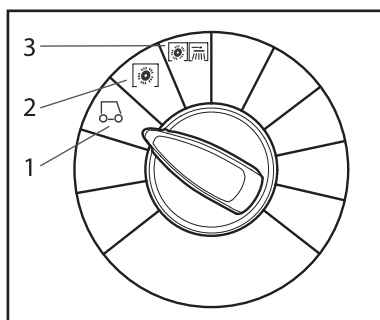
作業者が座席から離れると止まるシステムになってます。

清掃モードの選択



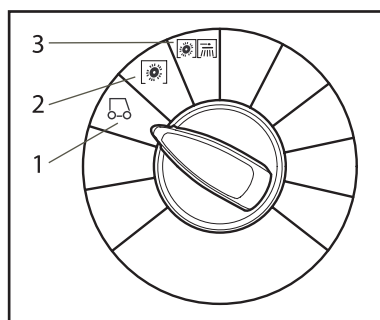
- 1：ドライブモード
機械を移動することができます。
- 2：メインブラシモード
メインブラシ作動
- 3：サイドブラシモード
サイドブラシ、メインブラシ作動

始動



清掃モード選択ノブを「1」のドライブモードに合わせてください。

移動方法



清掃モード選択ノブを「1」のドライブモードに合わせてください。

障害物の上を走行する場合

50 mmまでの高さの障害物。

前進しながらゆっくりと走行します。

50 mm以上の高さの障害物

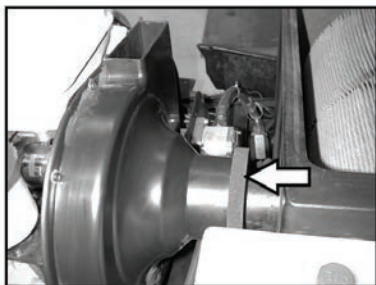
障害物の上を走行しないようにしてください。

清掃作業



注意

- 梱包用テープ、針金あるいは類似のものは清掃しないでください。ブラシを損傷する場合があります。
- 清掃時には本体付近に他の人や、動物、障害物がないかを確認してください。



乾いた床を清掃する場合
本体カバーを開けてください。
シーリングキャップを吸引タービンの方向に動かしてください。



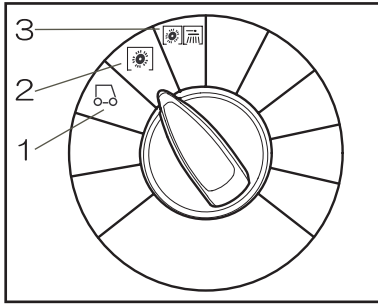
座席横にあるカバーを閉じてください。



湿った / 濡れた床を清掃する場合
路面が著しく濡れている場合
シーリングキャップをフィルターボックスの方向に動かしてください。



路面が若干濡れている場合
座席横にあるカバーを開けてください。



清掃モード選択ノブを「2」のメインブラシモードに合わせてください。



前進ペダルを踏んで清掃を始めてください。



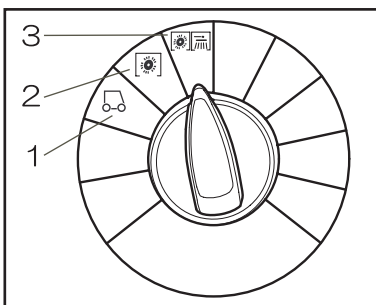
大きなゴミがある際にはフラップ昇降ペダルを踏みフラップを上げてください。



フラップを上げた状態で大きなゴミを掃き取ります。



通常はフラップを下ろした状態で清掃してください。
ペダルを踏んだままで作業をしないでください。ゴミを取ることができません。



壁際などの隅を清掃する際には、ノブを「3」のサイドブラシモードに合わせてください。



サイドブラシを隅に合わせて機械を前進させてください。

フィルターのちり落とし



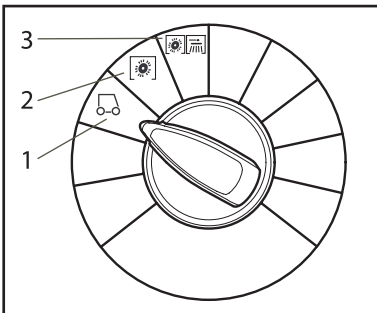
清掃モード選択ノブを①のドライブモードに合わせてください。
メインブラシ、サイドブラシが上昇します。



注意

フィルターのちり落としを行っている間は、絶対に本体にカバーを開けないでください。

停止方法



清掃モード選択ノブを「1」のドライブモードに合わせてください。メインブラシ、サイドブラシが上昇します。



キースイッチをきってください。

ダストコンテナ



フィルターの埃を取った後ダストコンテナを開け上に持ち上げて留め具を外してください。

ダストコンテナを引き出し空にしてください。
空にしたら、再度ダストコンテナを本体に戻し動かないように固定してください。
反対側のダストコンテナも同様に空にしてください。

使用しない場合

定期間本機を使用しない時は次の内容に注意してください。
本機を水平なところに保管してください。
サイドブラシを保護する為にブラシを上げてください。
キーを外してください。
本機が転がらないように固定してください。
本機の内部および外部を清掃してください。
バッテリーケーブルを外してください。
バッテリー液の量を毎回点検してください。
湿った場所では保管しないでください。

8.1 使用時間メーター

メンテナンスの時期については使用時間メーターを参考にしてください。

8.2 お客様のメンテナンス方法

毎日のメンテナンス

バッテリー液の量を点検してください。
作業制御装置が作動しているか点検してください。
サイドブラシ、メインブラシに磨耗やひも等の絡みつぎがないか点検してください。
タイヤの空気圧を 6 bar に調整してください。

毎週のメンテナンス

フィルターを点検してください（使用量の多い場合は頻繁に行なってください）。
ワイヤーケーブルと可動部品が可動可能か点検してください。

50時間毎のメンテナンス

シートコンタクトスイッチを点検してください。
ベルトの磨耗や切れの点検をしてください。
ワイヤーケーブルと可動部品が可動可能か点検ください。
シール部分に磨耗がないか点検してください。
タイヤの空気圧を点検してください。
バッテリー液の比重 / 量を点検してください。
メンテナンスや修理は熟練した技術者に依頼してください。
必要に応じケルヒャーのサービスエンジニアに御相談ください。

充電

バッテリーの安全について

充電器の取り扱い説明書を熟読する。
バッテリーの取り扱いには熟練者の元で十分に注意を怠らなう。
作業時には保護メガネ、作業用手袋および作業服を着用する。
取扱説明書の事故を防ぐ為の説明や関連法規、規定を確認する。

火災や爆発を防ぐ為に
作業中はタバコを吸わない。
火気、燃えかすやスパークをバッテリーに近づけない。
バッテリーの端子には常に電流が流れていますので、バッテリーの上に物や工具を置かない。
充電する場合には、爆発しやすい水素ガスが発生するので、換気のいい場所で充電作業を行う。

バッテリー液によるやけどを防ぐ為に
万が一、バッテリー液が目に入ったり皮膚についたりした場合には、大量の水で洗い流し、直ぐに専門医の指示を受けること。
バッテリー液の付いた衣服は速やかに洗うこと。

バッテリー液の点検と補充



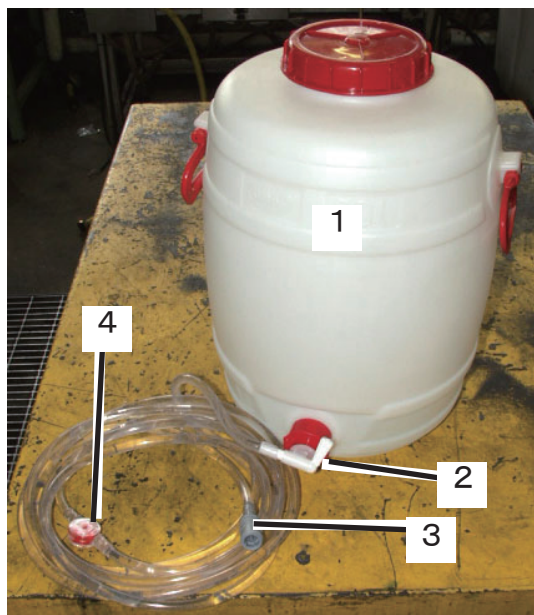
バッテリーの取扱は常に注意を払って行うこと。
専用充電器以外は使用しないこと。



充電器のプラグを電源プラグに差込む。
自動的に充電され自動停止する。

保水について
充電ごとに保水を行ってください。
給水には専用の給水装置を接続し行ってください。

バッテリーの保水



バッテリーを充電する前にバッテリー液を充填してください。

バッテリーより高い位置に装置を設置してください。
給水中は水車④が回転をしています。
水車の回転が止まるまで保水をしてください。

1. タンク
2. コック
3. 接続コネクタ
4. 給水確認水車



バッテリー側コネクタと保水タンクコネクタを接続してください。
タンクのコックを開くと給水が行われます。
適正量が保水されると自動的に停止します。



保水停止後コック②を閉めバッテリー側コネクタと保水タンクコネクタを取外してください。

100V 充電器

換気の良い場所で充電作業を行ってください。
充電中は火器を近づけないでください。
バッテリー充電器の取扱説明書に従い作業を行ってください。



充電方法抜粋

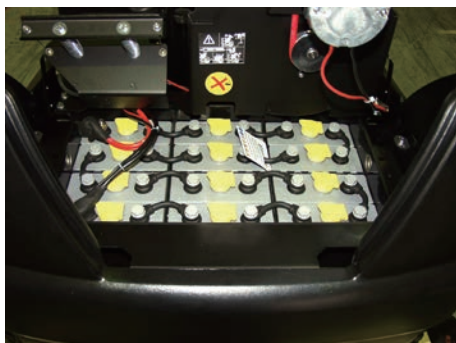
本体のメインスイッチを切ります。
本体カバーを開けてください。
専用バッテリー液充填装置で保水してください。
バッテリーと本体の接続コネクタを抜き取ります。
バッテリー側のコネクタと充電器側コネクタを
しっかり接続してください。
充電器の電源スイッチを入れてください。
満充電までに約 12 時間ほど要します。

充電器を取り外す

本体のメインスイッチが切られていることを確認して
ください。
充電器のスイッチを切ります。
充電器側コネクタとバッテリー側コネクタを取り
外します。
取り外したバッテリー側コネクタを本体側コネク
タへしっかりと接続します。
接続が悪い場合、接触不良を生じ不具合が生じる場合
があります。
本体カバーを閉めてください。
メインスイッチを入れ作業を行ってください。

200V 充電器

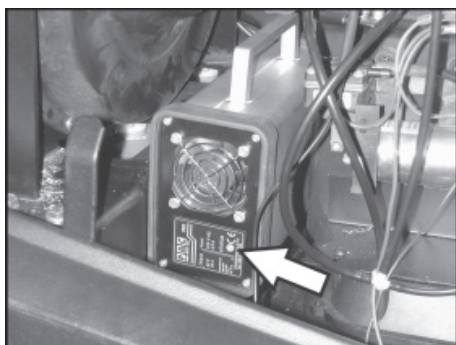
換気の良い場所で充電作業を行ってください。
充電中は火器を近づけないでください。
バッテリー充電器の取扱説明書に従い作業を行ってください。



充電方法抜粋
本体のメインスイッチを切ります。
本体カバーを開けてください。
専用バッテリー液充填装置で保水してください。

積載充電器の電源プラグを引き出してください。

充電器の電源スイッチを入れてください。
満充電までに約 12 時間ほど要します。



充電器を取り外す
本体のメインスイッチが切られていることを確認してください。
インジケータランプがグリーンになるまでそのままの状態を保持してください
インジケータの表示
オレンジ ⇒ 充電中
グリーン ⇒ 充電終了
赤 ⇒ バッテリーが接続されていない
赤点灯 ⇒ バッテリー異常
サービスフロントへご連絡ください。

インジケータがグリーンになった場合
電源プラグを取除いてください。
本体カバーを閉めてください。
メインスイッチを入れ作業を行ってください。

電源 単相 200～260V
周波数 47～63Hz
ヒューズ容量 4.5A
使用環境 0～40℃
異物混入規格 IP21

メンテナンス

●お手入れ

※バッテリー接続プラグを外した状態で行ってください。

※フィルターは1時間毎にエンジンを停止してチリ落としを行なってください。

作業終了後は必ずチリ落としを行なってください。

※本体の汚れ、バッテリーの汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布を固くし
ぼり拭き取ってください。

※ガソリン、シンナー、ベンジン、掃除用、殺虫用、整髪スプレーなどをかけないでく
ださい。破損、変質、変色の原因となります。

●保管

※保管前に必ずお手入れをしてください。

※必ず屋内のホコリのかからない場所に保管してください。

●メンテナンススケジュール

毎日 / 8時間毎

バッテリー液の量

1週毎 / 25時間毎

ストラップの状態 キズ、脱落、割れの確認

1ヶ月毎 / 40時間毎

フィルターの状態

メインブラシ、 サイドブラシの状態

半年毎 / 100時間毎

ベルトの状態、テンション

本機を平坦な場所に移動してください。
エンジンは必ず停止させてください。
イグニッションキーを外してください。

内部の清掃

マスクやゴーグルをして作業をしてください。

外部の清掃

強い洗剤を使用しないでください。

使用時間メーター

メンテナンスの時期については使用時間メーターを参考にしてください。

メンテナンス方法

毎日のメンテナンス

バッテリー液の量を点検してください。
作業制御装置が作動しているか点検してください。
サイドブラシ、メインブラシに磨耗やひも等の絡みつきがないか点検してください。
タイヤの空気圧を 6 bar に調整してください。

毎週のメンテナンス

フィルターを点検してください（使用量の多い場合は頻繁に行なってください）。
ワイヤーケーブルと可動部品が可動可能か点検してください。

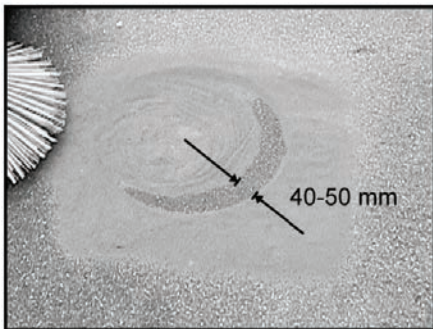
50時間毎のメンテナンス

シートコンタクトスイッチを点検してください。
ベルトの磨耗や切れの点検をしてください。
ワイヤーケーブルと可動部品が可動可能か点検ください。
シール部分に磨耗がないか点検してください。
タイヤの空気圧を点検してください。
バッテリー液の比重 / 量を点検してください。
メンテナンスや修理は熟練した技術者に依頼してください。
必要に応じサービスフロントへ御相談ください。



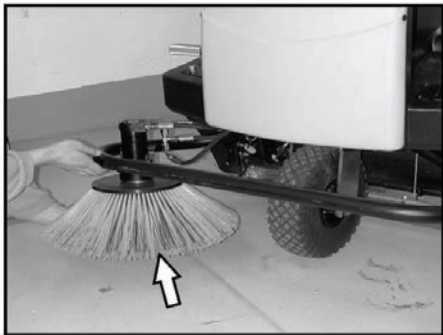
メンテナンスや修理は熟練した技術者が行なってください。
修理の際は業務用製品コールセンターへご連絡ください。

サイドブラシの点検



サイドブラシを上げて本機を平らでホコリが均一に付いている場所に移動してください。
サイドブラシを下げて回転させてください。
サイドブラシを上げ本機を後退させてください。
ブラシの回転跡を確認し作業幅が 40-50 mmか確認してください。

サイドブラシの交換、取り付け



ブラシ固定ネジを外して古いサイドブラシを取り外してください。
新しいサイドブラシを取り付けてネジを締めてください。
テープやひも等が絡まっている場合は取除いてください。

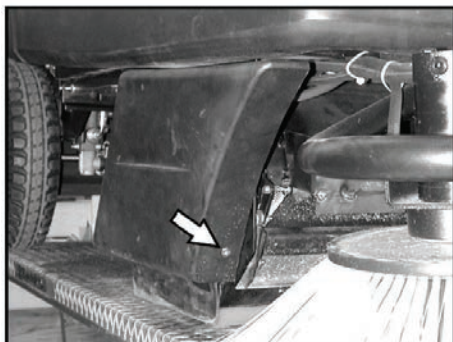
メインブラシの点検



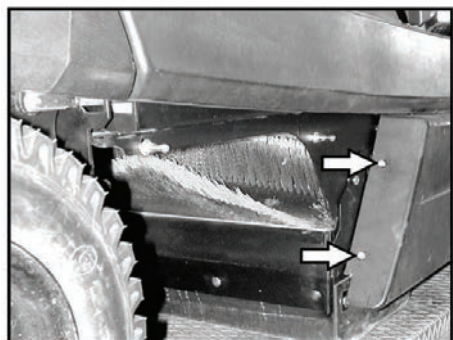
本体を平らな場所に置き、固定させてください。
メインブラシを上げた後、イグニションスイッチを切り鍵を取り外してください。
ゴミコンテナを取り外してください。
ブラシに絡まったテープや紐等を取り除いてください。

メインブラシの交換、取り付け

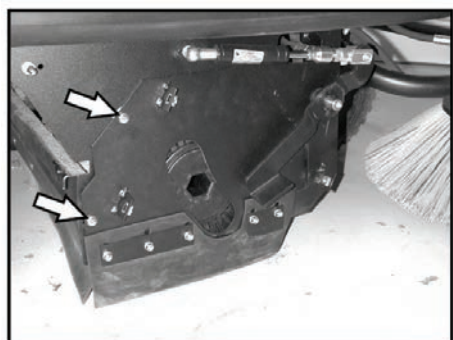
ブラシの磨耗により掃能力が低下している際には、ローラーを交換する必要があります。その際には本車を水平な場所に駐車させた後安全確認を行い作業をする。ゴミコンテナを取り外す。



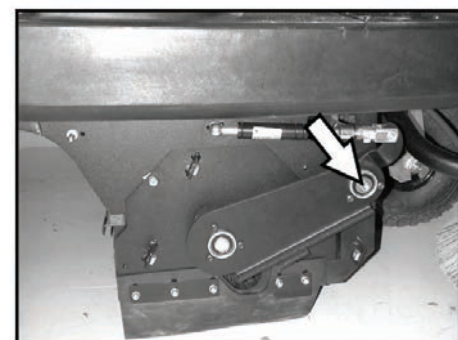
右側のパネルの前方にあるネジを外してください。



右側のパネルの後方にあるネジを外してください。



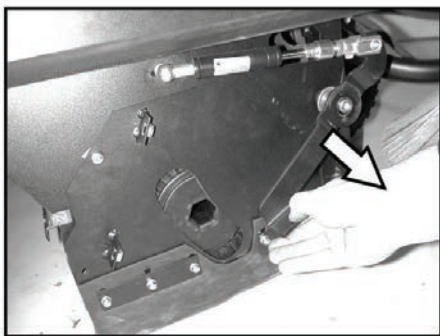
その他のネジを外してください。



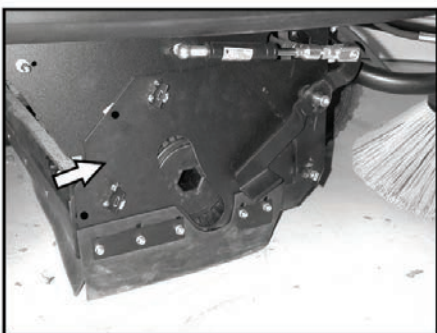
メインブラシのブラケット部のネジを外してください。



メインブラシのブラケットを外してください。



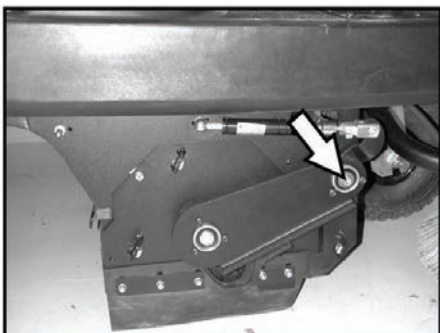
釣り棒を外してください。



カバーを外し、メインブラシを取り出してください。



メンテナンス後
メインブラシを元の位置に取り付けてください。
この際ブラシの位置・向きをきちんと確認してください。

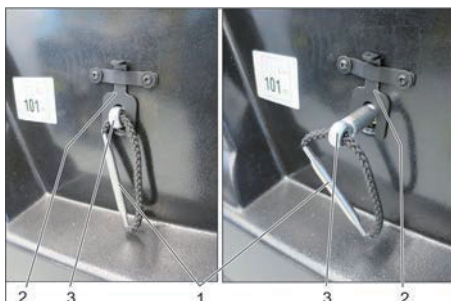


取り外したネジを再度留めてください。
全てのネジを留めた後、ゴミコンテナを取り付けてください。

ダストフィルターの交換



フィルターの交換作業の際には必ず防塵マスク等をつけて作業をしてください。



本体カバーを開けてください。
ロックを上引き解除してください。
ハンドルをロックするまで引っ張ってください。
フィルターを取り出してください。

- 1 フィルターホルダー
- 2 ロック
- 3 ハンドル



フィルターを取り出してください。
フィルターの左右の向きに注意してください。

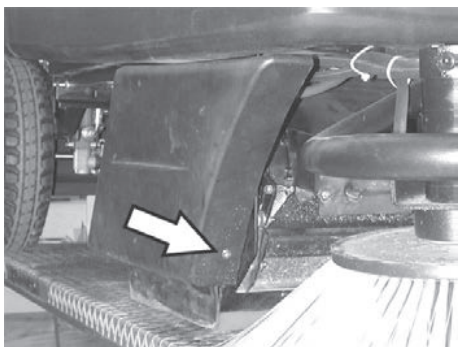
新しいフィルターを装着してください。
ハンドルを基の状態に戻してください。
フィルタースイッチを押し作動状態を確認してください。

フィルターボックスシールの交換

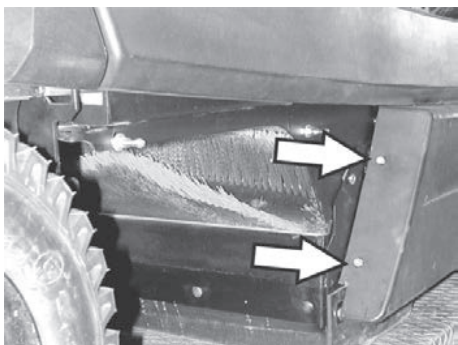


フィルターボックスのシールを交換する場合
本体カバーの溝から取り外し新しい物と交換を行ってください。

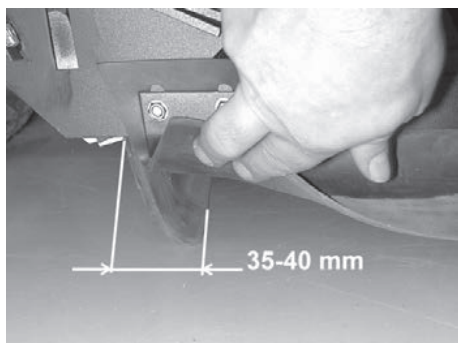
ストラップ



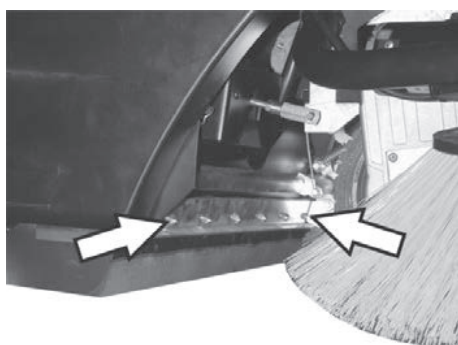
水平な場所に移動してください。
イグニッションキーを外してください。
ダストコンテナを取外してください。
パネルの両側のネジを外してください。



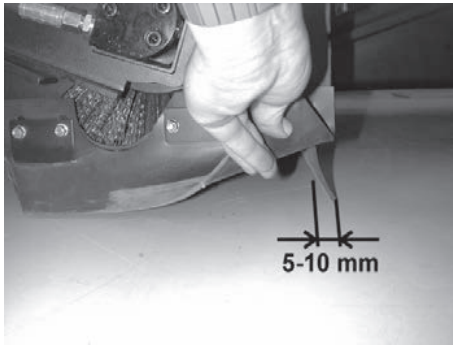
パネルの後方のネジを外してください。
サイドパネルを取外してください。



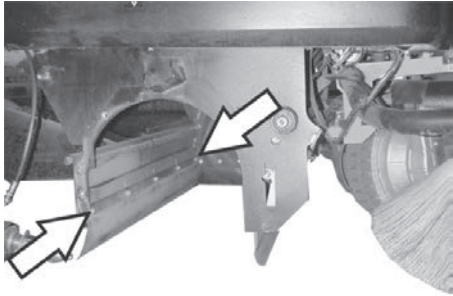
<前方ストラップ>
ストラップの折れ曲がり方が後方へ 35 ~ 40 mm に調整
を行ってください。



摩耗している場合は
固定プレートを取り外し新しいストラップと交換を行っ
てください。



<後部ストラップ>
ストラップの高さが地面から5～10mmに調整を行ってください。



摩耗している場合は
固定プレートを取り外し新しいストラップと交換を行ってください。

後輪

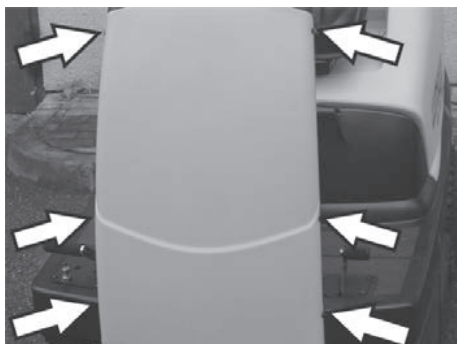


ジャッキアップ
ダストコンテナを取外してください。
充て木をしジャッキを取り付けてください。
グラツキの無い事を確認した後作業を行ってください。

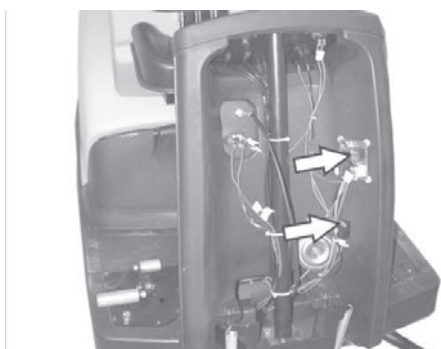


後輪空気圧
6 bar に合わせてください。

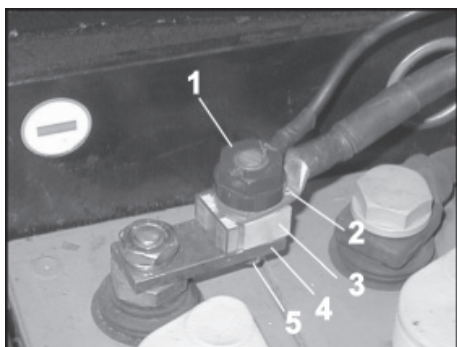
ヒューズの交換



カバー両側のネジを外してください。



切れたヒューズを取り外し新しいヒューズを取り付けてください。
ヒューズ容量は同じものをご使用ください。



バッテリーターミナルヒューズ

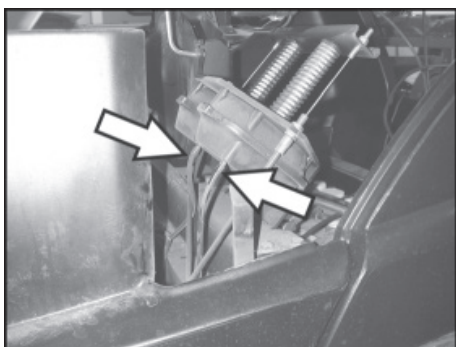
1. 絶縁ナット
2. バッテリーケーブル
3. ターミナルヒューズ
4. プレート
5. スクリュー

ターミナルヒューズが切れている場合は新しいものと交換をいおこなってください。
絶縁ナットと同時交換を推奨いたします。

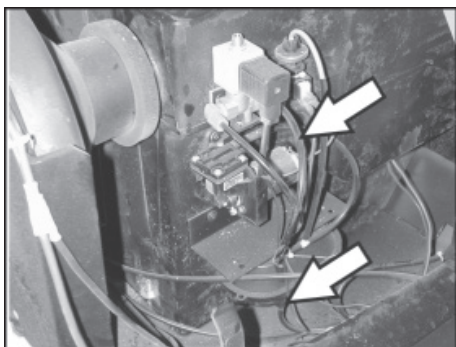
空圧制御



サイドブラシアクチュエーターの接続ホースを確認し損傷が有る場合は交換を行ってください。
破損している場合はサイドブラシが降下しません。

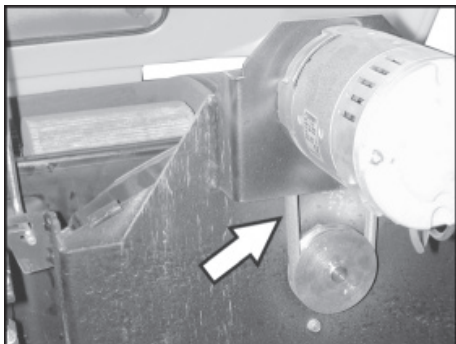


メインブラシアクチュエーターの接続ホースを確認し損傷が有る場合は交換を行ってください。
破損している場合メインブラシが降下しません。



エアポンプの接続ホースを確認し損傷が有る場合は交換を行ってください。
破損している場合全てのブラシが降下しません。

タービン駆動ベルト



タービン駆動ベルトを確認し損傷、亀裂が有る場合は交換を行ってください。
ベルトテンションが掛かりすぎた場合、ベアリングが損傷します。

トラブル対応

症状	確認事項
エンジンがかからない	燃料があるか確認、補充 燃料コックを確認、開く 燃料フィルターを確認、清掃 エンジンオイル量を確認、交換 エアフィルターを確認、交換 デコンプを作動してかけてみる (D) キャブレターを確認、調整 (B、LPG) シートスイッチを確認、交換 電磁ブレーキ (Y2) を確認 エンジンオイルレベルスイッチ (S4) を確認、交換 ヒューズF1～F3を確認、交換 バッテリー電圧を確認、充電 キースイッチ (S1) を確認、交換 スターターモーター (M1) を確認、交換
エンジンがかかるが動かない	手動レバーを確認、作業モードに変更 アクセルリンクを確認、調整 トランスミッション駆動ベルトを確認、交換
ブレーキが解除できない	バキュームホースを確認、交換 電磁バルブ (Y1) を確認、交換 ブレーキ用ダイヤフラムを確認、交換
エンジンを止めてもブレーキが利かない	ブレーキを確認、調整
ブラシがゆっくり動くが下がらない	バキュームホースを確認、交換 ブラシ用ダイヤフラムを確認、交換 逆止弁を確認、交換 電磁バルブを確認、交換 油圧オイルの量を確認、補給、交換 油圧ホースを確認、交換 圧力バルブ (DBV) を確認、交換 ブラシコントロールユニットを確認、交換 油圧ポンプを確認、交換

症状	確認事項
メインブラシ、 サイドブラシが動かない	油圧モーターを確認、交換
掃除が悪い	メインブラシを確認、磨耗している場合は交換 ひも状のゴミが絡まっている場合は取り除く 昇降シリンダーを確認、交換 ブラシアームの動きがスムーズか確認、OH
ほこりが舞う	乾湿切替フラップの位置を確認 タービンダクトのスリーブを確認 タービン駆動ベルトを確認 フィルターシールを確認 フィルターシェイカー（2個）の状態を確認 フィルターを確認 フィルターモーター（M2）を確認 ヒューズ（F 1）を確認

保管方法

一定期間使用しない場合は、次の内容に注意してください。

バッテリーは2か月毎に充電してください。

本機を水平なところに保管してください。

ブラシを保護する為にブラシを上げてください。

キーを外してください。

本機が転がらないように固定してください。

本機の内部および外部を清掃してください。

湿った場所では保管しないでください。

お問い合わせ先

<業務用製品コールセンター>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、ケルヒャー業務用製品コールセンターへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL：045-777-7410

FAX：045-438-1320

ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサービスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



＜ユーザー登録をいただいたお客さま限定＞
ご購入日から 1 年間の保証期間を
ご購入から 2 年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。ぜひご登録ください。

＜ユーザー登録方法＞

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N：x x x x x x の数字がシリアル番号です。

＜保証＞

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。

弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

ケルヒャー ジャパン株式会社 業務用製品コールセンター

T E L : 045-777-7410

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。

尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

当社の個人情報保護の取り組みについては、ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトでご覧いただけます。

修理

修理のご用命は弊社ホームページをご覧ください、
申し込みフォームからご依頼ください。

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

この取扱説明書の製品は、「中・大型機」になります。
弊社支店への持ち込み修理と出張修理サービスが対象です。
※修理費用については予告なしに変更する事があります

お電話での修理のお問い合わせは
業務用製品コールセンター（修理受付）
受付時間 9：00～17：00
月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

TEL：045-777-7410

補修部品

